

# 『時事直言』 No.1560 2022年7月25日

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[twitter 日本語] t\_masuda2019/

[instagram] t\_masuda2019/

[mail] [info@chokugen.com](mailto:info@chokugen.com)

[twitter 英語] T\_Masuda\_eng/

[Youtube] 増田俊男チャンネル/



時事評論家 増田俊男

## 衰退するアメリカは売り！

今ドルは対円最高値圏にある。

これは「ローソクの最後の輝き」である。

ドルが崩壊する前の最高値で売り逃げるべきである。

ドル・円は1ドル140円をピークに今後二度と下がることはなく、円高になる。

今後ドル資産価値は目減りすることが決まっている。

今はドル資産(ドル預金、ファンド、不動産等)を売って円資産に切り替える時である。

私が関与しているドルベースファンドやアメリカ株式があるが、実は7月20日(アメリカ時間)に利益の一部を現金化して証拠金を積み、ドル・円差損をヘッジしたのでこれからいくら円高、ドル安になっても一切差損が生じることなく利益をそのまま享受出来るようにした。

原油をはじめ、穀物、原材料価格が6月から下がり続け、インフレの間接的要因であったサプライチェーン問題が解消されているのに一向にインフレが収まらないのは Manipulation(市場価格操作)である。

かつて日本の財務省は円高是正の為市場介入(操作)を行ったことがあったが、ドル高維持の為のドル買い介入しているのはFRBではなく米財務省である。

ドル高は、表向きインフレ是正の為となっているが、ドル高の真の狙いは世界に行き渡っているドルをアメリカに呼び戻す為、いわゆるキャピタルフライトである。

日銀は先進国中唯一緩和政策続行だからアメリカ向けキャピタルフライト最大貢献者である。

市場関係者が口を揃えて(来るはずもない)「リセッション目前！」と叫ぶので、誰しも下がり続ける自国通貨よりドルの方が安全だと思い自国通貨を売ってドル資産を買うので増々世界資金がアメリカへ極集中する。

世界から戻ってきたドル資金はアメリカにとって負債であり、世界の国々にとっては債権である。

アメリカが誘導されているのは、債務を解消することで流入資金をアメリカの資産にすることである。

「屋(おく)に上げて梯子をはずす」のはアメリカの世界資産合法的略奪の常套手段である。

バイデンは東西分断で両陣営の依存関係を無くそうとし、世界に出て行ったドルはアメリカへ帰国する。

もしバイデンをこうした動きに誘導している者がいるとしたら、一体それは誰で又何の為なのだろうか。

もしその目的が「アメリカを潰す為」だとしたなら、読者の皆様は何のことだかわからないかも知れない。

本日から始まる「増田俊男のインターネット国際政経塾」第4話「人類の宿命 Scrap(戦争) and Build(再建)」をご覧になれば手に取るようにわかる！

バイデンが、自分がやっていることはアメリカを潰す為であることを知らないところが「みそ」である。

### 大好評発売中！増田俊男の小冊子 Vol.128

#### <何よりも歴史の裏(真実)と表(偽物)を知ることが先決>

現在増田俊男の小冊子 Vol.128 は大好評発売中です。内容は\*すべては「禁断の木の実」から始まる \*ユダヤ資本がアメリカを捨てる時 \*金融が駄目なら財政がある、だから東西冷戦があるのだ \*人間の欲(資本)が決める世界新秩序 \*こんな時だからこそ大儲けが出来るなどです。

価格は、1冊4,800円(税・送料別)。詳しいご案内、お申込みについてはマスタ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX: 03-3956-1313、HP: <http://chokugen.com/>) まで。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、事前にマスタ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX: 03-3956-1313) までお知らせ下さい。